

MHF[®]-SW23

Part No.20549-001E, 20549-001E-01

Instruction Manual

4	S22238	June 7, 2022	Y. Imaji	K.Yufu	Y. Hashimoto
3	S18423	July 6, 2018	M.Nomoto	K.Yufu	K.Yotsutani
2	S17440	June 13, 2017	M.Nomoto	K.Yufu	K.Yotsutani
1	S17213	March 22, 2017	M.Nomoto	K.Yufu	K.Yotsutani
Rev.	ECN	Date	Prepared by	Checked by	Approved by

弊社製 RF スイッチ MHF-SW23 の取り扱いに際して、本コネクタを安全に御使用頂くことを目的とし、実装基板のレイアウト、検査用ハーネスの挿入・抜去の手順及び注意点を記述致します。

- ◆RF スイッチ
名称 MHF-SW23
型番 20549-001E, 20549-001E-01
- ◆検査用ハーネス
名称 MHF-SW23 SMA ADAPTER CABLE
型番 90582-0*00

【コネクタ各部名称】

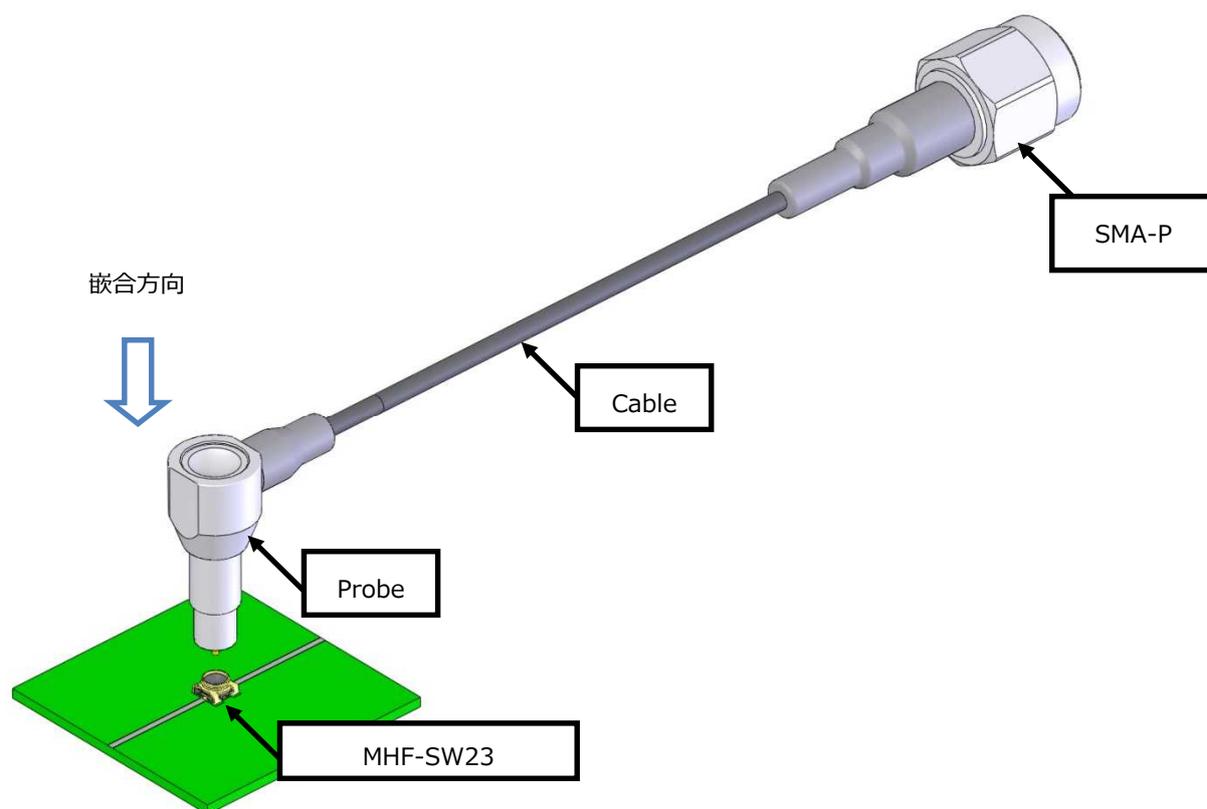
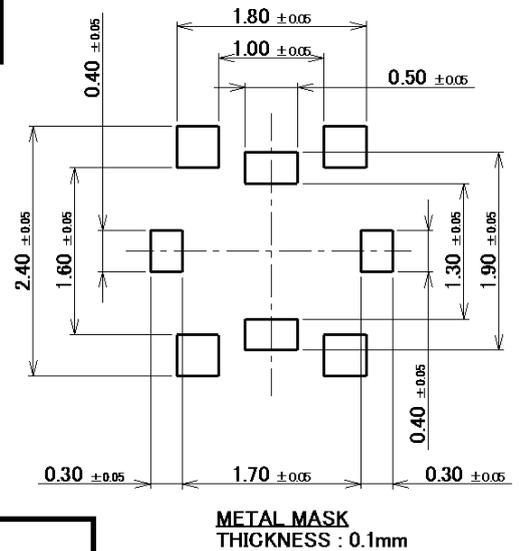
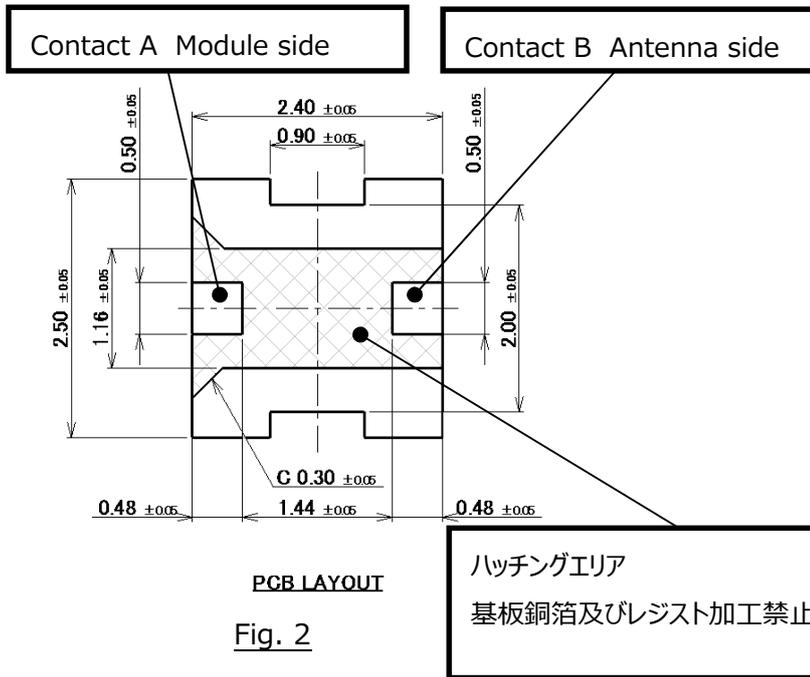


Fig. 1 コネクタ各部名称

【基板パターンのガイドライン】

MHF-SW23 を基板に実装する際は、指定基板のパターン (Fig. 2) および指定メタルマスク寸法 (Fig. 3) での実装をお願いします。



注意事項

- ・指定基板パターン及び、指定メタルマスク寸法以外での実装は、行わないでください。
半田上がり、フラックス上がりの原因となります。
- ・製品底部（指定基板パターンのハッチング部）に基板銅箔やレジスト加工を行うと Fig. 5 のように MHF-SW23 のハウジング部と干渉する恐れがあり、実装不良の原因となります。



Fig. 4

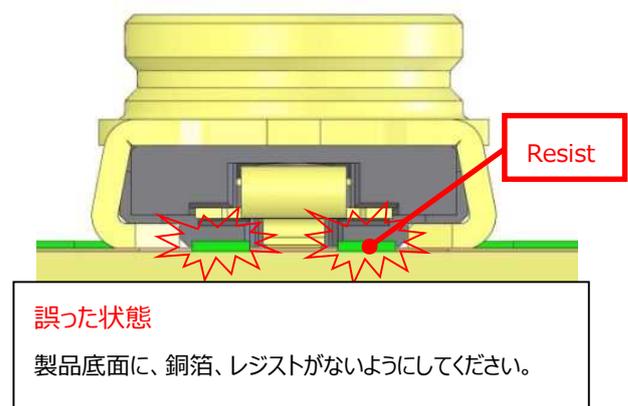


Fig. 5

【MHF-SW23 周辺部品配置のガイドライン】

MHF-SW23 の周辺に部品を配置する際には、Fig. 6 の寸法を参考に、検査用ハーネスと MHF-SW23 が嵌合する時に周辺部品が干渉しないようお願いします。

検査用ハーネスと MHF-SW23 の嵌合状態

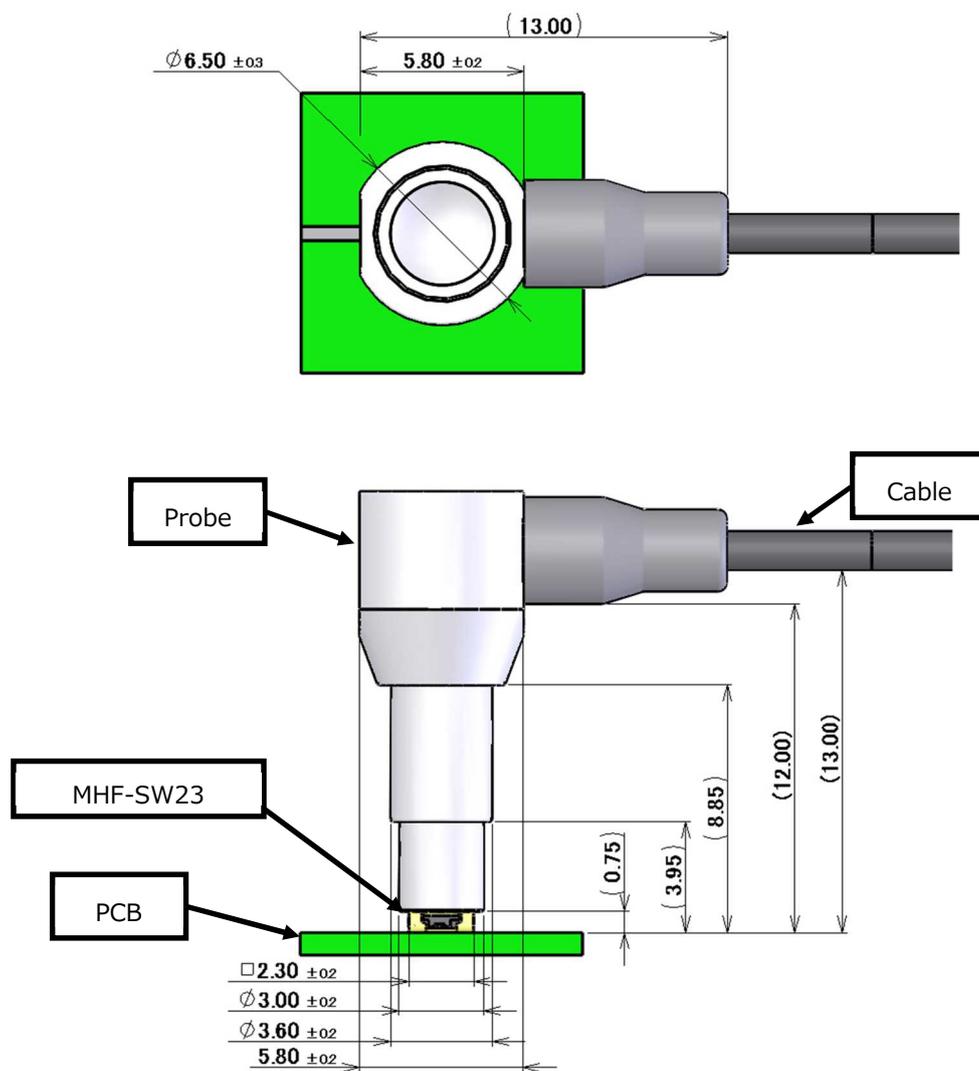


Fig. 6

注意事項

- ・検査時に周辺部品が検査用ハーネスに干渉すると、部品の破損や、検査不良の原因となります。

【基板ブリッジ位置のガイドライン】

MHF-SW23 を実装基板に配置する際は、MHF-SW23 の付近にブリッジを配置しないようお願いします。(Fig. 7 参照)

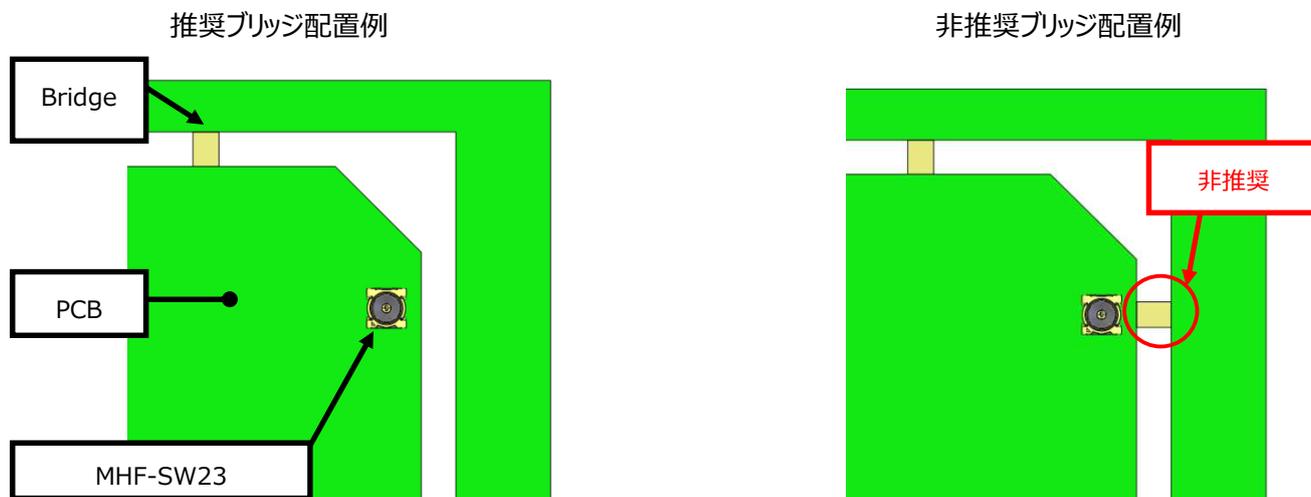


Fig. 7

【注意事項】

- ・Fig. 8 のように MHF-SW23 実装後の基板の付近にブリッジがあると、基板をルーター等で切り離す際に削り粉が製品内部に入る可能性がありますので、ブリッジは離して配置してください。

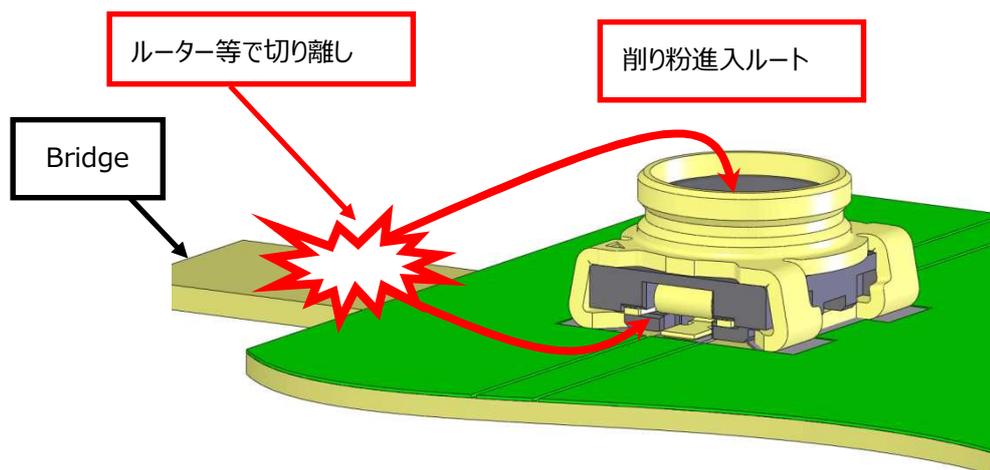


Fig. 8

【検査用ハーネス SMA-P 取り付け順】

Fig. 9 のように、SMA-J を固定し SMA-P 側を手で回し仮締めした後、

Fig. 10 のように適正トルク 0.57Nm のトルクレンチと固定レンチを用いて固定をお願いします。

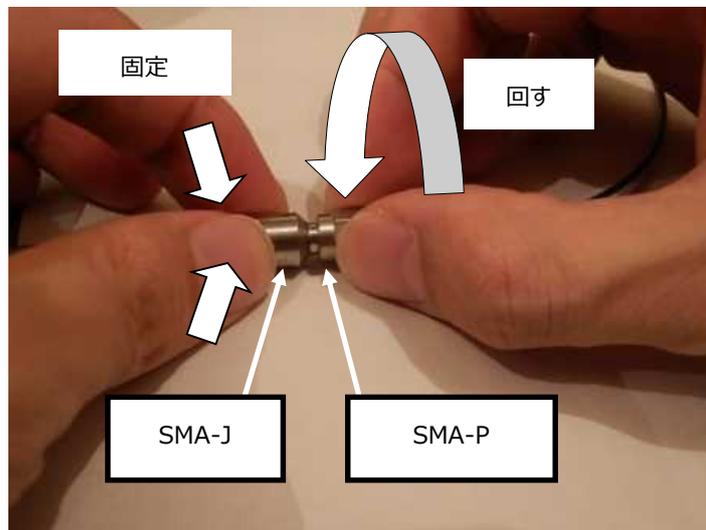


Fig. 9

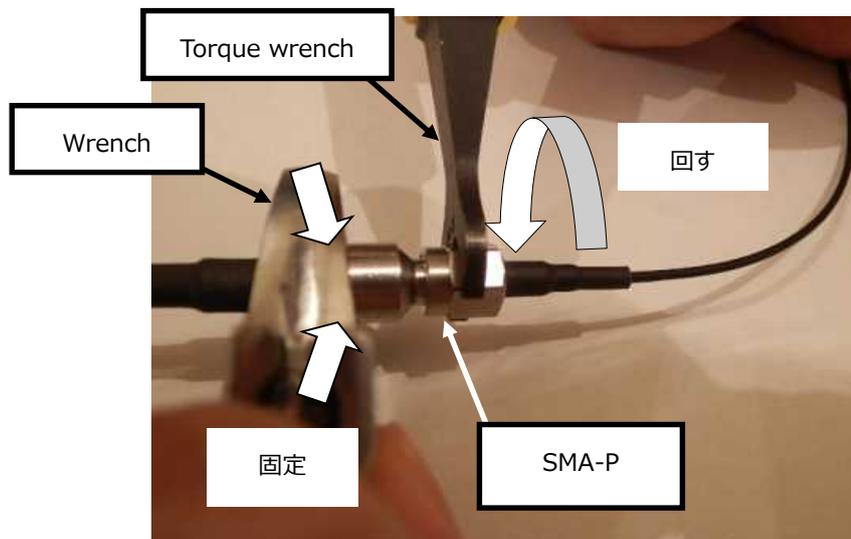


Fig. 10

注意事項

- ・必ず SMA-P 側のみを回すようお願いします。
- ・また、SMA-P を固定する際は適正トルク 0.57Nm のトルクレンチを使用するようお願いします。
- ・固定に必要以上のトルクがかかると SMA コネクタの破損の原因となります。

【検査用ハーネス挿入手順】

1. 検査用ハーネスの保持方法

Fig. 11 のように検査用ハーネスのプローブを持ちます。

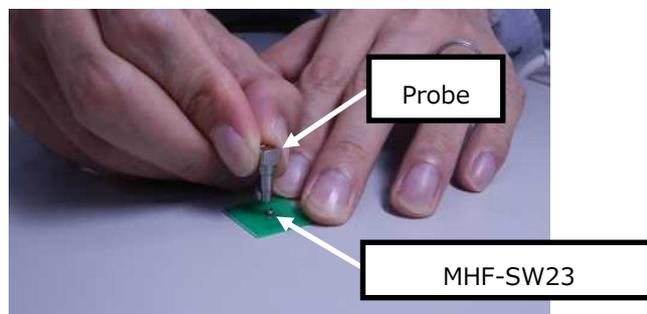


Fig. 11

2. 検査用ハーネスのセット方法

Fig. 12 のように、プローブと MHF-SW23 をセットします。

セットしたら前後に軽く動かし、動かないことを確認します。



Fig. 12

注意事項

・必ずプローブが基板と垂直になるようにセットしてください。Fig. 14 のように曲がったまま嵌合するとスイッチ及び検査用ハーネスの破損の原因となります。

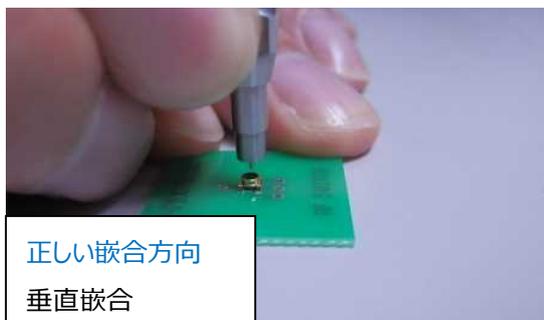


Fig. 13



Fig. 14

3. 嵌合方法

Fig. 15 のように、プローブのセンターを真上から押し、カチッという音がすると、嵌合完了となります。

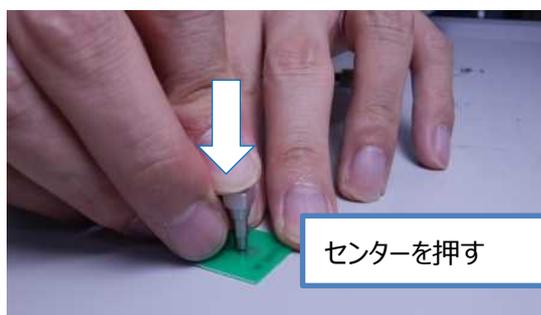


Fig. 15

【検査用ハーネス抜去手順】

プローブを押さえ、基板と垂直に引き上げてください。(Fig. 16 参照)



Fig. 16

注意事項 CAUTION

- ・Fig. 17 のようにケーブルを引っ張り検査用ハーネスの抜去を行わないでください。
必ず、プローブを押さえ、基板と垂直に引き上げてください。スイッチ、検査用ハーネスの破損の原因になります。

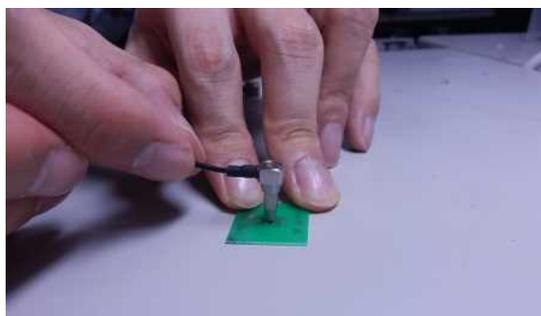


Fig. 17